

■ 暮らしUDアイデアコンクール 受賞作品

最優秀賞


題名	歩道に情報を！	作品番号
作者名	亀山 悟	9
所属	一級建築士	
作品概要	 <p>点字ブロックに方角や観光施設、トイレの場所などを示すパネルをはめ込むことで、安心して路地を散策できる。また、「なまこ壁」や「むしこ窓」等倉敷をモチーフにしたパネルをはめ込むことで、歩道に風土のかおりを演出する。</p>	
審査員コメント	<p>従来視覚障害者のためにある点字ブロック上に路地等の案内表示をすることで、視覚障害者だけでなく全ての人にとって便利で使いやすい設備にする、ユニバーサルデザインの視点の新しいアイデアである。</p>	

優秀賞（2点）

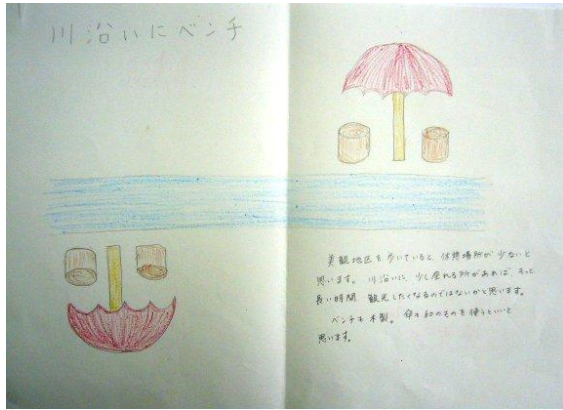
題名	路上変圧器の案内板	作品番号
作者名	佐藤佑香・菰口展成・岡本麻代	23
所属	川崎医療福祉大学医療福祉環境デザイン学科	
作概要		<p>中央通りにある路上変圧器は色が暗くポスターケースの中にある案内プレートが小さい。また位置が低く、周辺案内地図が納められていない。そこで、ポスターケースの中に案内プレートとピクトを入れ、ロゴ・矢印・距離数を大きく表示した見やすい案内板を提案している。</p>
審査員コメント	<p>街なかの変圧器は落書きされたり上部にゴミをのせられたり悩ましい存在であるが、美しく倉敷らしいデザインの案内表示をすることで、来る人にわかりやすく街にやさしい存在とするアイデアである。</p>	

題名	おもてなしたまご ～くらしきの魅力をアップする人（ひと）手間のおもてなし～	作品番号
作者名	色彩工房（西山庸二・翁長ゆかり・嘉数宮子・波平剛）	60
所属	専門学校講師、会社員、公務員等	
作概要		<p>倉敷美観地区やその周辺を案内するたまご型のインフォメーションボックス。なかには倉敷の町を案内する液晶画面や収納式のベンチを設置。街並みになじむよう外装にはなまこ壁や倉敷ガラスを採用。液晶画面に映し出される案内には、美観地区内の店舗や地域の住民が出演し、案内・サポートを行う。</p>
審査員コメント	<p>「人（ひと）手間のおもてなし」の言葉と可愛いイラストから倉敷人のやさしさが伝わり、心のユニバーサルデザインを感じられる作品である。</p>	

審査員特別賞（6点）

題名	INSOLE NAVIGATOR SOKONAVI	作品番号
作者名	登尾大介	54
所属	岡山県立大学工芸工業デザイン学科	
作品概要	 <p>このインソールはICタグを用いたユビキタス技術によって身の回りのあらゆる環境を認識し、ユーザーの歩行に応じて本体を振動させ、その振動による感覚刺激で様々な情報を伝え、歩行をサポートする。</p>	
審査員コメント	視覚障害者に限らず、道に迷うことなく目的地に行くことが出来る、とても新しく、夢がある、斬新なアイデアが素晴らしい。	

題名	美観地区内の照明	作品番号
作者名	中村俊介・熊代晶子・藤本幸恵	29
所属	川崎医療福祉大学医療福祉環境デザイン学科	
作品概要	 <p>同じ美観地区内でも様々な照明があり統一されていない。照明を統一させることで、美観地区全体にまとまり感をだす。また、明かりの効果で、昼間とは違った美観地区を演出する。川沿いや道沿いに設置し、足元を照らす。</p>	
審査員コメント	夜の倉敷を楽しめるように、景観を崩さないセンスのある提案である。	

題名	川浴いにベンチ	作品番号
作者名	渡辺智子	2
所属	団体職員	
作品概要		<p>美観地区を歩いていると、休憩場所が少ない。</p> <p>川浴いに少し座れる場所があれば、もっと長い時間観光したくなるのではないか。</p> <p>ベンチも木製。傘も和のものを使うといいと思う。</p>
審査員コメント	<p>ホッと空間を望む観光客の人たちの思いを可愛いイラストで表現されており、ほのぼのとした、倉敷にあったらいいなと思わせる提案である。</p>	

題名	すぐにわかるトイレの表示	作品番号
作者名	川田佳生・大山裕子・黒江純子	17
所属	川崎医療福祉大学医療福祉環境デザイン学科	
作品概要		<p>現在は、トイレがわかりにくく、障害者やお年寄りが使いにくい構造である。</p> <p>イメージとしては、倉敷らしさのある外観で、少し外れたところにあるので大きなピクトにして目立たせる。</p>
審査員コメント	<p>実際にあるトイレに関する提案であり、すぐに対応して欲しいと感じさせるものである。また、男女のイラストも分かりやすくよい。</p>	

題名	美観地区まで誘導する商店街床サイン	作品番号
作者名	木下政弥・高尾和世・光畑久美子	38
所属	川崎医療福祉大学医療福祉環境デザイン学科	
作品概要	 <p>雑然とした商店街の中を、スムーズに美観地区まで誘導するために床のサインを設置します。備前焼のタイルをポイントに用いることで、ほかのサインや美観地区との関連性・共通性を持たせることができる。</p>	
審査員コメント	文字による案内表示ではなく、色よってのビジュアル的な床サインは新しく、倉敷の商店街ならではのアイデアが感じられる。	

題名	車いす用レンタルコンピューターの提案	作品番号
作者名	長 龍太	50
所属	岡山県立大学工芸工業デザイン学科	
作品概要	 <p>近年車イスユーザーの中でも自分で車を運転する人が増えている。しかし、倉敷美観地区は徒歩での移動を基本に作られた街であり、車での移動に適していない。そこで、車では移動できない狭い道の移動に適した車イス用電動コンピューターを提案する。</p>	
審査員コメント	これからの多様な社会で需要も多くあると思われる乗り物である。デザイン性にもすぐれていて思わず乗ってみたいと思わせる提案である。	